



蔵と曲がり家の里



DATA・BOARD ④



- ① 福島県喜多方市字鶴巻
- ③ 多目的ホール、資料館、物産館、情報センターなど
- ⑤ 演劇やコンサートの開催、各種会合・研究会・展示会・発表会の開催場所としても利用される

喜多方市は「蔵のまち」として知られているが、蔵の維持修繕の困難さや道路整備工事などにより、今後の保存が問題になっていた。

蔵と曲がり家の里は、市民の寄贈による蔵を移築再生して後世に伝えていくことを目的につくられたもので、単体の建造物としてではなく、併せて市内に唯一残る郷頭の屋敷（曲がり家）も移築し、町屋敷の構成をもたせている。また、外構工事によって景観・環境を整え、各種イベントの開催できる新空間が作り出された。

この施設の活用については、多目的ホール、蔵づくり資料館、物産館、情報センター等を配置して、地域の風土と生活に根ざした蔵づくり、町屋敷の構成、生活文化を学ぶ歴史・文化の伝承を行うほか、観光・産業の情報提供も行っている。